



N-type両面発電太陽電池モジュール LP182*182-M-60-NB

両面発電



モジュール出力 **480W**

モジュール変換効率 **22.1%**

従来品のP-type(PERC)と比較し変換効率が高く、太陽電池モジュールの出力低下を引き起こすLID(※1)現象による劣化が抑えられる高性能モジュールです。

両面ガラスタイプは、裏面の光も取り込むので片面タイプと比較し、発電量が5～25%増加します。

(※1) LID 現象 (Light Induced Degradation) 太陽光パネルの初期劣化、光誘起劣化と呼ばれる現象。設置後、太陽光を受けはじめてしばらくの期間性能が低下する現象。



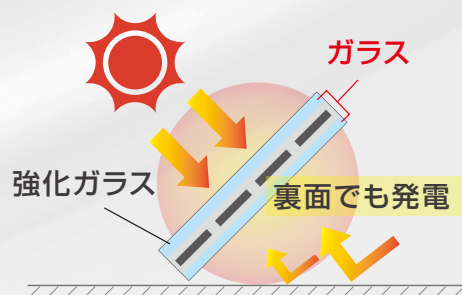
このような場所にも向いています



N-type両面発電太陽電池モジュールの特徴

01 反射光を有効利用

反射光を利用できる両面ガラスモジュールは、光反射率の高い水面や積雪面、白く塗装した屋根上などでさらに威力を発揮します。



02 過酷な条件下でも高い耐性

水上や積雪地など、厳しい環境下でも利用可能。設置場所の可能性が広がります。ソーラーシェアリングやカーポートにも最適です。

03 優れた耐火性

熱に強い強化ガラスを採用しているので、火災が起きても燃え広がる危険性を回避します。

04 長期保証で安心

N-type両面ガラスモジュールの製品保証はP-typeより10年長い25年。出力保証はP-type(PERC)より5年長い30年。低い減衰率が特徴で、初年度劣化率は1%以下、保証期間の30年目でも87.4%の出力を保証いたします。

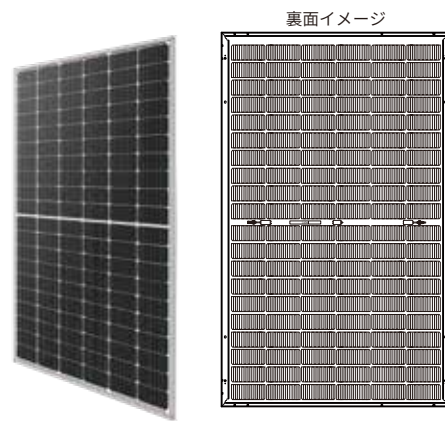
両面発電

片面発電

LP182*182-M-60-NB(両面ガラス)

出力範囲 470-480W

Bifacial Dual Glass



■電気仕様

おすすめ

公称最大出力	470W	475W	480W
公称開放電圧	42.60V	42.75V	42.90V
公称短絡電流	13.97A	14.04A	14.12A
公称最大出力動作電圧	35.03V	35.19V	35.32V
公称最大出力動作電流	13.42A	13.50A	13.59A
モジュール変換効率	21.7%	21.9%	22.1%
実行変換効率(J-PEC基準)	23.7%	23.9%	24.2%

両面係数
(Bifaciality)

80±5%

■両面発電データ (10%)

公称最大出力	517W	523W	528W
公称開放電圧	42.60V	42.75V	42.90V
公称短絡電流	15.46A	15.56A	15.63A
公称最大出力動作電圧	35.03V	35.17V	35.34V
公称最大出力動作電流	14.76A	14.87A	14.94A

■部材仕様

質量	26.5kg	ジャンクションボックス	防水等級IP68
モジュールの寸法	1909×1134×30mm	フレーム	アルミ合金
セル枚数	120枚(60×2) 単結晶	ケーブル(※)	1200mm
セルの寸法	182×91mm	コネクタ	MC4 または MC4相当
最大システム電圧	1500V	適用等級	Class A

※ 他の長さもご用意できます。

■温度係数

■限度

公称モジュール動作温度 (NMOT)	41±3°C	出力許容差	0~+5W
短絡電流の温度係数	+0.046%/°C	モジュール動作温度範囲	-40°C~+85°C
開放電圧の温度係数	-0.25%/°C	風圧/雪圧	2400pa/5400pa
最大出力の温度係数	-0.30%/°C	最大逆負荷電流	25A

N-type両面
製品保証

25年

出力保証

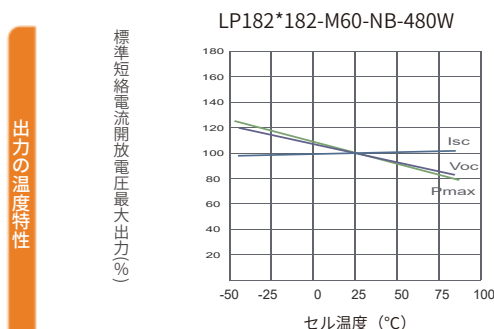
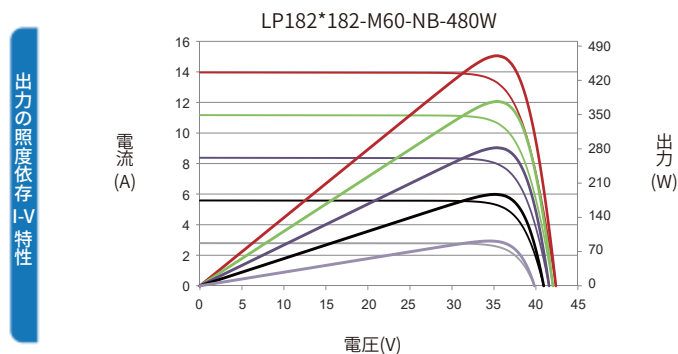
30年



- ・ TUV NORD認証
- ・ IEC 61215-2:2016
- ・ IEC 61730-2:2016



- ・ J-PEC対象製品



※仕様等は変更になる場合がございます。 [2024.1_Ver.2]

